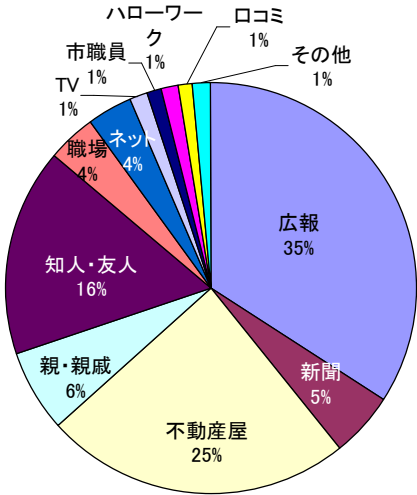


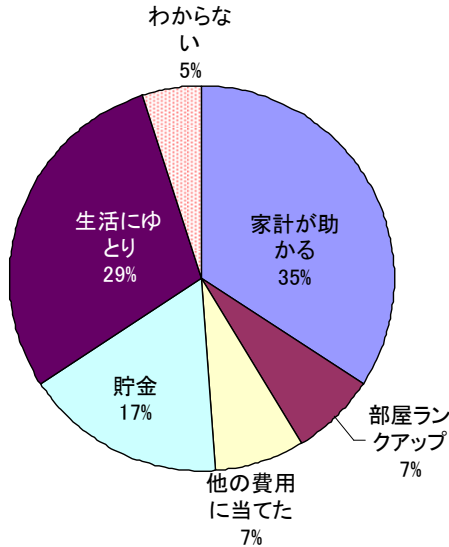
新婚世帯家賃支援・通勤支援補助金利用者アンケート結果

1. 本補助金を何でお知りになりましたか？（複数回答可）



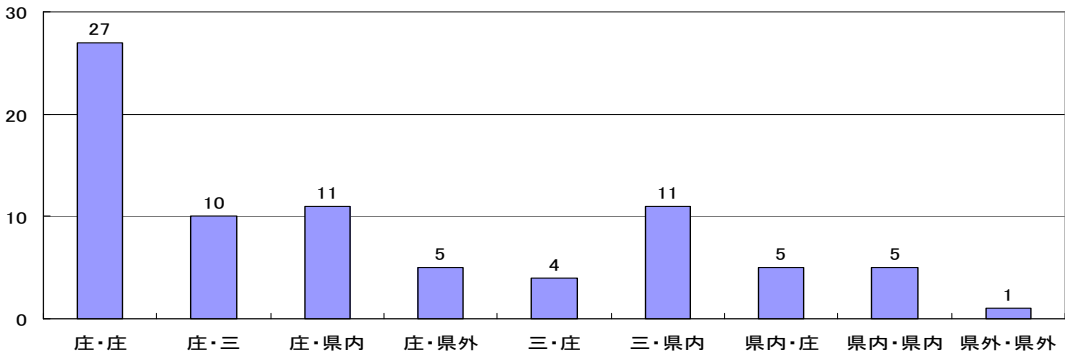
広報紙を見ての申請が最も多かったが、入居手続きの際に不動産業者からの紹介を受けたケースも多い。住宅に関する支援については、不動産業者との連携は不可欠と考える。

2. 補助金によって、暮らしに生じたメリットがあればご記入ください。



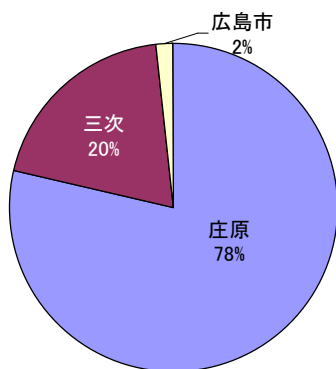
家計が助かる・生活にゆとりが出たとの回答が多く、次いで貯金に当てている。経済支援としての効果は、大きい。

3. ご夫妻が結婚前にお住まいだった地域を教えてください。



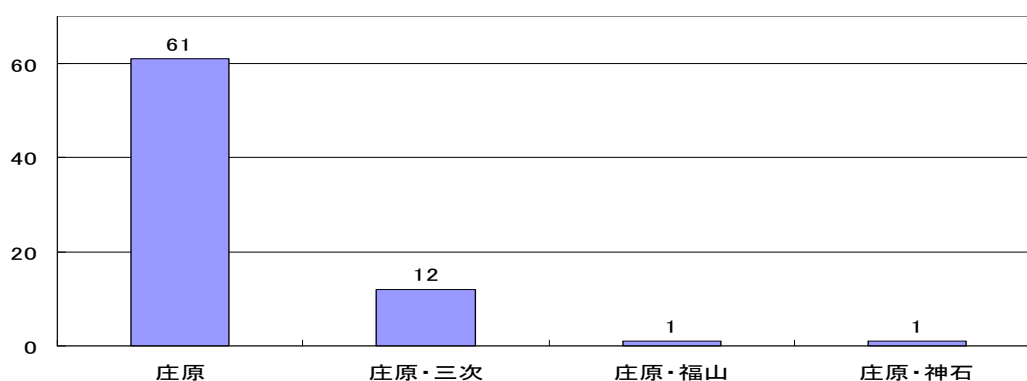
従前の住居が庄原同士とする回答は、全体の 1/3 であり、夫妻のいずれかまたは両方が市外居住者であるとの回答は 2/3 であった。市外同士の補助金申請者の多くは、通勤で市内へ転居してきた該当者である。

4. 申請者の通勤先を教えてください。



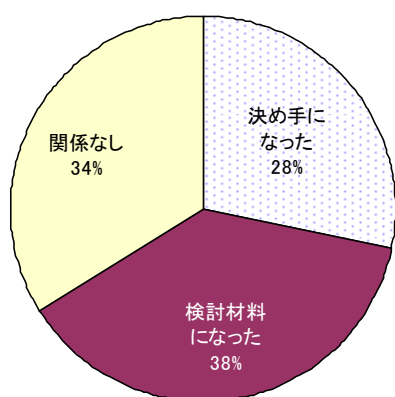
補助金申請者の約8割の勤務先は庄原であるが、2割強は市外への通勤加算の対象となっている。

5. 新居を選ぶにあたって検討した居住地を教えてください。（複数回答可）



もともと庄原に新居を構えるとした回答が約8割であり、隣の三次市への居住検討は2割弱であった。

6. 新居の決定にあたって本補助金が影響を与えたかどうかについて教えてください。



全体の約7割が本補助金が庄原に住居を構える決め手、または検討材料になったと回答している。

検討材料、または決め手になったとしながらも、婚姻を機会に新居を市外へ構える検討をしたと答えるのは、2割にとどまっており、市外への通勤者とほぼ同等であった。緊急経済対策事業として実施し、新婚世帯への生活支援の面では効果が大きかったが、他市への流出防止としての効果や定住につながる転入者増に対し効果があったとは言いがたい。現在、事業継続中であることから、今後の補助申請者の動向を調査し、事業の検証を行う必要がある。